

## 2020 年度日本海洋学会第 2 回幹事会議事録

日時:2020 年 7 月 27 日(月)13:30~17:30

場所:Zoom を利用したオンライン開催

出席者:神田会長、伊藤副会長、安藤、梅澤、江淵、岡、乙坂、帰山、川合、北出、高橋、西部、三角、安田、安中、吉田、事務局(毎日学術フォーラム:平坂)

### 議題

#### 1. 議事録(案)承認(三角幹事)

2020 年度第 1 回幹事会の議事録(案)が確認され、承認された。

#### 2. 審議事項

##### (1) 入退会について(岡幹事)

2020 年 4 月から 5 月の入会者(5 名)と退会者(12 名)が承認された。2020 年 5 月末時点の会員数は、1437 名。

##### (2) シンポジウムの後援・協賛等について(岡幹事)

後援・協賛等について 3 件の依頼があり、承認された。

##### (3) 募集・推薦等の依頼(岡幹事)

公募・推薦 22 件、シンポジウム・講演等 1 件、その他 6 件の依頼があり、学会ホームページにて公開、メーリングリストにて配信されたことが報告された。

##### (4) 2020 年度秋季大会におけるセッション募集について(西部幹事、川合幹事)

学会員から提案のあったセッションについて、すべて採択することが承認された。

秋季大会開催に向けた今後の段取りについて確認された。

##### (5) 日本海洋学会若手研究者向けセミナー開催について(伊藤副会長)

新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により実施が困難となっている日本海洋学会若手集会助成や日本海洋学会若手海外渡航援助に代わり、日本海洋学会若手研究者向けセミナーをオンラインで開催することが提案され、承認された。

このセミナーでは海外の研究者に講演を依頼し、ディスカッションの時間を多くとることで、若手研究者が海外の研究者と交流する機会とする。

#### 3. 報告事項

##### (1) 会長(神田会長)

ハワイ大学の Bo Qiu 会員が、米国気象学会の Henry Stommel Research Medal を受賞したことが報告された。

JpGU の学協会長会議の議長に、物理探査学会の渡辺俊樹会長が選出されたことが報告された。

秋季大会開催に向けた準備に対する慰労が述べられた。

(2) 会計(安田幹事)

2020 年度以降の会計方針について報告された。

(3) 研究発表(川合幹事)

今後の大会の開催見通しについて報告された。

(4) 選挙(安田幹事)

2020 年度に実施する役員選挙、幹事・賞選考半数改選選挙のスケジュールについて報告された。

(5) 編集

① JO(江淵編集委員長)

JO (Vo. 74(1)から Vol. 76(4))の発行状況、投稿・受理状況について報告された。

2011 年度から 2020 年度までの年度別の投稿数、2015 年度以降の受理数、出版数等について報告された。

② 海の研究(吉田編集委員長)

海の研究の第 29 巻 3, 4 号が発行されたことが報告された。

投稿・受理状況について報告され、2020 年度は第 29 巻 5, 6 号を発行予定であることが報告された。

③ ニュースレター(安藤編集委員長)

JOS ニュースレター(第 10 巻 2 号)が 9 月 1 日に発行される予定であることが報告された。

(6) 広報(安中幹事)

JpGU-AGU Joint Meeting 2020 における海洋学会の展示(iPoster)の実施について報告された。

リクルート戦略 WG の対応状況について報告された。

(7) 海洋環境委員会(梅澤幹事)

青い海助成事業の応募状況について報告された。

(8) 教育問題研究会(安中幹事)

海のサイエンスカフェが7月19日にオンラインで開催されたことが報告された。

11月に実施されるサイエンスアゴラはオンラインで開催予定であることが報告され、応募を検討していることが報告された。

海の出前授業の実施状況について報告された。

(9) JpGU(川合幹事)

JpGUのプレジデントとして東京大学の田近英一教授、大気水圏科学セクションのセクションプレジデントとして、総合地球環境学研究所の谷口真人教授、バイスプレジデントとして東京大学の佐藤薫教授、東塚知己会員、幹事として安成哲平助教が選出されたことが報告された。

(10) 日本海洋科学振興財団(伊藤副会長)

日本海洋科学振興財団から援助を受けて実施されているデータ同化夏の学校は8月にオンラインで開催される見込みであることが報告された。

(11) 震災対応(帰山幹事)

日本学術会議にてとりまとめた「東京電力福島第一原子力発電所事故による環境汚染の調査研究の進展と課題」が7月7日に公表されたことが報告された。この報告書のとりまとめに植松光夫会員、熊本雄一郎会員、津旨大輔会員、帰山幹事の協力があったことが報告された。

(12) 将来構想(岡幹事)

「研究に関する将来構想WG」が6月から活動を開始したことが報告された。

(13) 男女共同参画(安中幹事)

男女共同参画学協会連絡会から依頼のあった在宅勤務実態調査について、5月16日に海洋学会MLで協力を依頼し、調査結果についてJpGUの男女共同参画セッションで紹介されたことが報告された。

JWEF女性技術者に贈る奨励賞に日本海洋学会から推薦を行ったことが報告された。

(14) 水産海洋科学連絡協議会(北出幹事)

本年度の第1回水産海洋科学連絡協議会が6月10日に開催されたことが報告された。

連絡協議会の会長に古谷研会員、副会長に北出幹事が選出されたことが報告された。

(15) その他

・ ロードマップ関連(伊藤副会長)

学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想ロードマップの策定に関して、8月13日にヒアリングが実施されることが報告され、ヒアリングに向けた準備状況が報告された。

以上